



平成19年3月期 第3四半期 財務・業績の概況（連結）

平成19年2月6日

上場会社名 コスモ石油株式会社

（コード番号：5007 東証・大証・名証各第1部）

（URL <http://www.cosmo-oil.co.jp>）

（TEL (03) 3798 - 3101）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 木村 彌一
責任者役職・氏名 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 田村 厚人

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）

法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

（内容）

連結（除外）2社、持分法（除外）1社

2. 平成19年3月期 第3四半期 財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（注）金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成19年3月期第3四半期	2,270,965 19.2	47,173 44.2	51,331 44.1	17,879 62.5
平成18年3月期第3四半期	1,905,543 22.3	84,536 107.4	91,905 119.3	47,689 190.7
(参考)平成18年3月期	2,670,628	111,247	119,557	61,795

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成19年3月期第3四半期	26.64	25.54
平成18年3月期第3四半期	73.69	72.25
(参考)平成18年3月期	94.54	92.17

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における国内の石油製品需要は、原油高騰による燃料転換及び暖冬等により減少し、当社個別での総販売数量は3,269万kl 前年同期比97.2%となりました。

連結業績につきましては、石油事業において 前第3四半期に比べ市況改善はあったものの 販売数量の減少や精製費用(自家使用燃料代)の負担が増大したこと、更に 千葉製油所の事故を起因とした製油所稼働低下の影響による代替供給コスト負担が発生したこと、 たな卸資産の総平均法による在庫評価の影響が前第3四半期に比べ減少したこと等によりマイナスとなり、 原油価格の高値推移により石油開発事業における収益改善などのプラス要因はあったものの、売上高2兆2,710億円(前年同期比+19.2%)、経常利益513億円(前年同期比 406億円)、四半期純利益179億円(前年同期比 298億円)となりました。

また、個別業績につきましては、売上高2兆964億円(前年同期比+17.3%)、経常利益60億円(前年同期比 545億円)、四半期純利益 5億円(前年同期比 366億円)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第3四半期	1,596,091	352,399	20.9	496.34
平成18年3月期第3四半期	1,566,653	299,806	19.1	446.68
(参考)平成18年3月期	1,463,578	312,504	21.4	465.48

(注) 平成18年3月期第3四半期及び平成18年3月期の数値については、従来の「株主資本」、「株主資本比率」、「1株当たり株主資本」を記載しております。

連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年3月期第3四半期	42,221	26,766	73,850	61,500
平成18年3月期第3四半期	116,897	6,878	139,776	54,613
(参考)平成18年3月期	20,685	1,347	39,607	56,632

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、1兆5,961億円となり、前期末比1,325億円増加となりました。これは、たな卸資産及び売上債権が増加したこと等によるものです。純資産は3,524億円となり、自己資本比率は20.9%となりました。

当第3四半期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動は前述同様、たな卸資産及び売上債権が増加したことや、法人税等の支払いの影響等により422億円のマイナスとなりました。投資活動は、固定資産の取得による支出等により268億円のマイナスとなりました。財務活動は、借入金の増加等により739億円のプラスとなりました。

以上により、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末比49億円増加の615億円となりました。

[参考1]

平成19年3月期第3四半期(個別)財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(個別)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成19年3月期第3四半期	2,096,443 17.3	7,436 87.5	5,962 90.1	488
平成18年3月期第3四半期	1,787,688 25.9	59,526 92.2	60,527 116.0	36,058 185.0
(参考)平成18年3月期	2,495,351	75,127	75,558	46,497

	1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭
平成19年3月期第3四半期	0.73
平成18年3月期第3四半期	55.68
(参考)平成18年3月期	71.10

(2) 財政状態(個別)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第3四半期	1,455,190	255,934	17.6	381.13
平成18年3月期第3四半期	1,403,911	239,743	17.1	357.01
(参考)平成18年3月期	1,331,219	248,448	18.7	369.88

(注)平成18年3月期第3四半期及び平成18年3月期の数値については、従来の「株主資本」、「株主資本比率」、「1株当たり株主資本」を記載しております。

3. 平成19年3月期の連結業績予想

(1) 連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回予想(A)	3,040,000	61,000	17,000
前回予想(B)	3,170,000	79,000	29,000
増減額(A-B)	130,000	18,000	12,000
増減率(%)	4.1%	22.8%	41.4%

[業績予想に関する定性的情報等]

前回（平成 18 年 11 月 7 日公表）の業績予想と比較し原油価格が下落したことに伴い、通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の連結および個別業績見通しを修正致します。今回の業績予想修正の主な要因は、原油価格下落に伴い在庫評価の影響で売上原価が押し上がること等のマイナス要因が見込まれるためであります。尚、今回の見通しは、第 4 四半期（1-3 月）の原油価格(FOB) 52.0\$/bbl、為替レート 120.0 円/\$を前提としております。

配当金につきましては前回（平成 18 年 11 月 7 日公表）の予想（期末 5 円/株）を変更しておりません。

[参考 2]

平成 19 年 3 月期の個別業績予想

(1) 個別業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回予想 (A)	2,840,000	3,000	7,000
前回予想 (B)	2,960,000	17,000	6,000
増減額 (A - B)	120,000	20,000	13,000
増減率 (%)	4.1%	-	-

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。